三櫻工業株式会社 第 115 期定時株主総会 質疑応答

実施日時：2023 年 6 月 19 日（月）10:00～10:18

Q1. 北米の赤字が続いているが、これに対する対応策、今後の見通しを教えてほしい。

A1. 北米においては、顧客からのオーダー変動（事前の内示数量に対し、実際の注文数量が減少）がこの 1 年間継続したが、製品の安定供給の責任を果たすためにも、当社としては内示数量を基準に生産準備をしなければならず、固定費の増大に繋がった。これに加えて材料費の高騰、輸送費・人件費の混乱も発生しており、ものづくりに大きな影響を与えている。
このような問題に対し、顧客への価格転嫁を行うべく、私も渡米し顧客との価格交渉、補償交渉を続けて来た。今年度も引き続き顧客交渉の取り組みを続けていく。
今年度の見通しだが、単月の実績が黒字に転じるなど徐々に回復の兆しが見え始めているため、期末決算で良い結果を迎えられるよう、引き続き取り組んでいく。

Q2. IR について、個人株主に対するアプローチが重要になると思うが、外国人株主に対する方針も教えてほしい。

A2. 当社株式における個人株主の比率は全体の 50%に近く、重要な株主であると認識している。個人株主の長期保有に繋がるような IR を発信していきたい。また、海外機関投資家の比率が非常に低いため、こちらについても対策を講じていく。個人投資家向けの説明会の開催、国内および海外の機関投資家へは個別のアプローチを図るなど、属性ごとに最適な施策を図っていく。

以上